

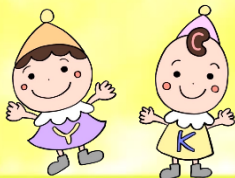
四日市市幼児教育センター

令和8年10月

センターだより



夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

令和8年度 第1回四日市市幼児教育・保育研究協議会が開催されました。

～こどもの生活とまなびをつなぐ・はぐくむ～

今年度も、架け橋期コーディネーター・幼児教育アドバイザーがアウトリーチ型の支援として、園訪問及び園内研修を計画し実施しています。そこでは、8月4日に文科省ホームページに掲載された「幼児教育ワーキンググループ取りまとめ（案）※会議後修正」にも示されているように、「0歳から18歳までの育ちや学び」「好きや得意を見付け広げ深める」をワークショップや意見交流を通して考え、学びあう機会とし、さらに架け橋期コーディネーター・幼児教育アドバイザーが伴走支援していけるようにとの思いで活動しています。

8月に実施された下野こども園の「公開保育・実践検討会」でのグループワークでは、園内研修での意見交流と同じような振り返りや「遊びを通したこどもの育ちと学び」について、就学前教育・保育施設職員・学校教職員など立場の違いを超え、同じ場面を観察し活発な意見交換が行われました。（先月号掲載）

今月は、「第2回の公開保育・実践検討会」が海の星カトリック幼稚園（助言指導者 桜花学園大学 教育保育学部 教育保育学科教授 上村 晶先生）にて10月26日（月）に開催予定です。

9月30日に開催された「第1回 四日市市幼児教育・保育研究協議会」では、四日市市教育委員会教育推進課との共催研修の報告や、架け橋期コーディネーターの取組状況の報告がありました。

参加の委員からは「就学前教育・保育における遊びの深まり」や「小学校とのつながり」等に対する活発な意見が出されていました。



四日市市幼児教育・保育研究協議会

会長三重大学 教育学部 教授 富田昌平先生



架け橋期コーディネーターの
取り組み状況報告より



よかったら、
お越しください

おしゃべり会

2026年10月28日(金)11月2日(月)17:00～
幼児教育センター展示室他

G 保育力アップ研修:実技「保育者のための絵本講座～実践へのヒント～」や中級研修「(仮)保育現場で活かす『しなやかな』コミュニケーション術」の後に、おしゃべり会を開催いたします。

ほっとする時間をつくれるようにと思っています。どうぞ、お立ち寄りください。

四日市市幼児教育センター
四日市市東新町26-32
橋北交流会館3階
TEL 059-333-6002

内容

何かな?何かな?
こどもたちとためしてみよう!
手作り遊具
遊びのヒントを
見つけよう

四日市市幼児教育センター 令和8年度 教育・保育フォーラム

こどもの『おもしろい!』が未来をひらく
0歳からの「やりたい気持ち」を小学校へ。
みんなでつなぐ探究のボタン

令和7年度より四日市市幼児教育センターでは「幼児教育推進体制等を活用した幼保小の架け橋プログラム促進事業」を進めています。四日市市においては、施設の種別を超えて、就学前教育・保育施設の質の向上とすべてのこどもの育ちを小学校教育へつないでいくことに取り組んでいます。昨年開催の教育・保育フォーラムを引き継ぎ、小中学校教職員並びに就学前教育・保育施設職員がそれぞれの現場で、直面している事例を交流しながら、今、一步、目の前のこどもの育ちをつなげていくことを深めていきたいと思っています。

〈基調講演〉

講師

学習院大学 文学部 教育学科 教授 秋田 喜代美 様

〈トークセッション(意見交換会)〉

登壇者

学習院大学 文学部 教育学科 教授 秋田 喜代美 様
三重大学 教育学部 幼児教育講座 教授 富田 昌平 様
四日市市 教育長 廣瀬 琢也 様

令和8年12月19日(土)13:30～15:30
四日市市幼児教育センター第2研修室
オンライン配信あり

申込みURL QRコード

<https://logoform.jp/form/7p72/1519136>



申込み期間

令和8年10月5日(月)から令和8年12月11日(金)まで

お問い合わせ

四日市市教育委員会教育推進課 四日市市諏訪町1-5
TEL059-354-8255 Fax059-354-8475
四日市市幼児教育センター 四日市市東新町26-32
TEL059-333-6002 Fax059-333-6003

図書案内

保育の「子ども理解」のために：主体性・環境・あそび

川田 学 (著) ひとなる書房

「いたずら、わるさ、マイペース……。「ダメ」ととめるだけでいいのか。」(表そでより)こどもたちの日々の姿とその姿をどのように読み解いていくか。読書の秋、じっくり考えこどもとあそびを通して体験を深めていく一書にはいかがですか。

著者は、本センターの研修講座で11月18日にオンラインにて講演していただきます。



自己調整学習と自由進度学習 自己調整を支える段階的な自由進度学習と仲間と許容された調整

木村 明憲、伊藤 崇達 他 明治図書

「なぜ、自己調整学習が大切なのか。それは、学校教育で自己調整学習を行っていくことが子どもたちのその後の人生の幸せにつながると考えるからです」(はじめにより)目の前のこどもの姿が幸せにつながるために小学校教育の今とこれからへの学びにいかがですか。